

情報提供日	2021年(令和3年)10月22日 No.0308
問い合わせ先	シテール推進室 天文科学館 (担当: 井上)
	078-919-5000 (内線 7150)

報道機関のみなさまへ

---

## プラネタリウム・オーバーホール期間変更について

---

天文科学館では、プラネタリウムのオーバーホールについて下記の通り期間を変更することとなりましたのでお知らせします。

### 記

#### 1 プラネタリウム・オーバーホール期間の変更

プラネタリウム・オーバーホールの時期について作業時期を2022年2月に変更します。それに伴い、部分開館(プラネタリウムのみ休止)期間を次の通り変更します。

2021年11月16日(火)～12月19日(日)

→2022年2月1日(火)～3月6日(日)(34日間)

#### 2 経緯

2021年1月～2月にドイツのカールツァイス社の技師によるプラネタリウムのオーバーホールを予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大に伴い国より水際対策措置が決定され、ドイツ人技師が入国できないこととなりました。

この状況を受け、プラネタリウムのオーバーホール期間を2021年11月16日(火)～12月19日(日)に変更し準備を進めておりましたが、外国人の入国制限が継続されている状況から、2022年2月1日(火)～3月6日(日)に期間変更することとなりました。

当初予定の2021年11月16日(火)～12月19日(日)の部分開館(プラネタリウムのみ休止)は予定を変更し、通常開館といたします。なお、感染状況により再変更の可能性があります。

#### 3 変更後のプラネタリウム・イベント等

《プラネタリウム》

一般投影：11月 アルマ望遠鏡—宇宙を見上げる大きな目

12月 クリスマスの星

キッズ：11月 3日～11月23日 それゆけ！ペルセウス！

11月24日～12月26日 クリスマスアワー

#### 《イベント》

熟睡プラ寝たリウム	11月23日（火・祝）当日整理券制
クリスマスナイトミュージアム	12月25日（土）事前申込制

\*詳しくは、当館ホームページでご確認ください。

#### 4 参 考

当館プラネタリウムは、旧東ドイツ・カールツァイスイエナ社製で、1960年の開館当初より稼働しています。2012年8月29日に稼働日数日本一となり、長寿日本一のプラネタリウムとして知られています。

1960年（昭和35年）	6月10日 - 開館・プラネタリウム稼働開始
1978年（昭和53年）	オーバーホール（1回目）
1989年（平成元年）	オーバーホール（2回目）
2002年（平成14年）	オーバーホール（3回目）
2010年（平成22年）	オーバーホール（4回目）